

2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ク ニ ス コ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 関 家 圭 三
(コード番号：2962 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 経 営 サ ポ ー ト 本 部 長 相 原 正 行
(TEL. 03-3458-4561)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、個別業績において前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2025 年 6 月期 個別実績と前期個別実績との差異 (2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A) (2024 年 6 月 期)	百万円 4,256	百万円 △105	百万円 △129	百万円 △305	円 銭 △34.12
実 績 値 (B) (2025 年 6 月 期)	3,056	△872	△873	△2,799	△305.43
増 減 額 (B - A)	△1,199	△767	△743	△2,494	△271.31
増 減 率 (%)	△28.2	—	—	—	—

2. 差異の理由

売上高は、主に産業用レーザー機器市場向け高性能ヒートシンクにおいて、中国市場で不動産問題に端を発する景況感の悪化、中国競合との価格競争の継続、一部顧客の需要減が重なったことなどにより、前事業年度より減少しました。営業利益及び経常利益は、中国市場での売上減及び利益率の高い欧米向け製品において顧客の短期的な需要変動があったことなどによって前事業年度より減少しました。当期純利益は、下記に記載の特別損失の計上などにより、前事業年度より減少しました。

(1) 子会社に対する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）の実施

当社の連結子会社の TECNISCO Advanced Materials Pte. Ltd. について、ウクライナ、中東などの世界情勢の不安定化などを背景に、お客様に試作案件の評価延伸や進捗遅れが見られ、計画通りに売上が進捗しない状況となり純資産が低下したことから、同社に対する貸付金の一部について、債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）を実施することにいたしました。

これに伴い、債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）により消滅する債権の帳簿価額と取得する株式の取得時の時価との差額の 685 百万円について、貸倒損失を計上いたしました。

(2) 子会社における貸倒引当金繰入額の計上

当社は連結子会社である TECNISCO Advanced Materials Pte. Ltd. について、債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）の実施と共に、さらに、財政状態等を勘案し、同社への貸付金に対して 516 百万円の貸倒引当金繰入額を計上いたしました。

また、非連結子会社である TECNISCO EUROPE GmbH において、同社への貸付金に対して 5 百万円の貸倒引当金繰入額を計上いたしました。

（３）関係会社株式評価損の計上

当社は連結子会社である TECNISCO Advanced Materials Pte. Ltd. において、上記に記載しました理由から、同社の実質価値が著しく低下したため、603 百万円の関係会社株式評価損を計上いたしました。

また、非連結子会社である TECNISCO EUROPE GmbH においても、同様の理由から、3 百万円の関係会社株式評価損を計上いたしました。

以 上